

辻邦生著「私の二都物語 - 東京・パリ - 」を読む

- 日本のよさを考える -

東京では建物とか街並みとかは、西洋のように、そのもの自体で独立した美なのではなく、季節とか天候とか時間とか他の風物などと一つに織り合わされて、それで初めて美しいものになるのではないか。だから、うまくいった場合は、それ自体でも美しいが、本来は季節なり天候なりと一つに織られた布地として見られたほうが、より美しいのではないか。 P.21 ~ 22

辻邦生著「私の二都物語 - 東京・パリ - 」  
中公文庫、中央公論新社 2000年6月25日刊  
- 2006年10月20日記 -